

交通安全対策について

しばさき 柴崎
しげお 重雄



深谷駅通りスクランブル信号機

公共施設の アスベスト対策について

問 全国的に子どもと高齢者の交通事故や自転車の人身事故が増加している。今年6月の改正道路交通法により自転車の安全利用の推進、後部座席を含むシートベルト全席着用等が義務化された。市民への交通安全の指導や意識啓発の対応について聞きたい。

答 深谷・寄居両警察署の協力を得て、市内小中学校や敬老会で交通安全を指導しております。また「広報ふかや」市ホームページでの呼びかけや警察官による指導・取り締り強化を図っております。

問 県立深谷第一高校交差点付近の朝夕の交通渋滞を緩和させる対策について聞きたい。

答 信号機の秒数変更などを深谷警察署と協議いたします。
問 深谷駅通りスクランブル信号機の見直しはできないか。

不審者対策について

おがわ 小川
しんいちろう 眞一郎

問 多発する不審者から子どもたちの安全を守る取り組みについて聞きたい。

答 子どもを犯罪から未然に防止するため、防犯ブザーの配布や、PTAの役員に防犯ベストを配布しております。また、安心で安全なまちづくりのため、警察署を初め各種団体と連携し、市民と協働の活動を推進いたします。

問 登校・下校時の安全対策について聞きたい。

答 自治会・PTA・老人クラブ等、皆様のパトロール強化を図り、防災無線での呼びかけや、公用車の巡回を実施しております。

問 児童・生徒への安全教育について聞きたい。

答 年間指導計画・安全計画に基づき、自らを守る力をはぐくむよう、安全に関する知識を教え、安全意識を高める教育を行っております。

農業の担い手育成についてどんな対策を実施しているか

ばば 馬場
しげる 茂

答 深谷市総合振興計画を昨年12月に策定し、将来の農業に対する施策の方向性が示され、それを具現化する形で、市において育成すべき農業経営規模の目標を定めています。この農業経営体を育成するため、経営の改善を計画的に行おうとする者と個別面談を行っています。また、担い手に対する農地利用集積を図り、集落営農組織が法人化に取り組みめるよう支援を行っています。現在、講演会・経理事務研修会、さらには農業制度資金貸し付け制度の優遇制度を設けるなど事業を展開しています。

問 施設園芸農家に対する省エネ対策を実施したが、それ以外の新たな省エネ対策は考えているのか。

答 定した補助制度を実施することとは、是正すべきと考えております。人間ドックも補助額を元に戻し、対象者を拡大する考えはありません。

深谷市環境基本計画と花と緑について

とみた まさる 富田 勝

問 市独自の支援策として、平成19年度は、循環扇の設置に対し補助金を交付。69件の農家で437基の循環扇を導入し、かなり効果があったと聞いています。その後も原油や資材等の高騰は続き、農業経営を圧迫しています。市としてどんな施策をいつごろ実施すればよいか、また効果が上がるのか検討します。

答 市独自の支援策として、平成19年度は、循環扇の設置に対し補助金を交付。69件の農家で437基の循環扇を導入し、かなり効果があったと聞いています。その後も原油や資材等の高騰は続き、農業経営を圧迫しています。市としてどんな施策をいつごろ実施すればよいか、また効果が上がるのか検討します。

問 地球温暖化防止対策で、今年から市職員を対象にエコ楽通勤デーを実施し始めたようですが、その他のようなことが考えられるか。

答 小中学生の皆さんには、環境ポスターコンテスト、一般の方には環境問題をテーマにした講演会などです。

問 計画に目標数値を設定して実施状況や成果を検証していく考えは。

答 策定中の深谷市地球温暖化対策実行計画の中で市庁舎内等の削減目標数値を設定し、取り組みたいと考えています。

問 重点課題の一つに公園・緑地の整備を挙げているが、具体的にどのようなことを考えているのか。

答 本年度から深谷市緑の基本計画の策定に着手したところです。この中で面積や整備



仙元山公園の松

問 仙元山公園の松くい虫対策についてもっと効果的対策はないか。

答 市では、毎年度松の伐倒駆除を国の補助金を受け、実施しています。平成19年度は伐倒本数55本、事業費81万1200円であり、平成20年度につきましても、補助額の引き上げを県に働きかけていきたいと考えています。

問 土や植物等の重さに建物が耐えられるかなどが課題です。県の「彩の国みどりの基金」の状況等を見ながら必要であれば研究してまいります。

問 花と緑の振興について。

答 「緑の王国」の活動の中で地元花植木関係者と市民と協働で展開してまいります。

問 花・植木生産農家への取り組みについて。

答 プロ野球公式戦での花のプレゼントや、(株)埼玉県花植木流通センターでの緑の感謝祭などを通じて、深谷市の花植木のPRと消費の拡大について関係団体と連携して引き続き実施してまいります。



問 人間ドックの補助を行う必要があるのではないかと。市単独で補助を実施する考えはありません。

問 低所得者に対して市独自の助成等創設ができないか。

答 現時点での創設は考えていません。

問 がん検診の補助の復活と人間ドックの補助額を元に戻し、対象者をさらに拡大すべきではないか。

答 がん検診については、自己負担額を今年度から引き下げており、国保被保険者に限

問 市内景気の拡大について

答 ガンリンを初め諸物価の高騰により、個人消費は冷え込んでいる。市内景気の拡大のため、小規模工事の発注に関し、予算を増額し、前倒しで行えないか。

問 当初予算の範囲内では、できるだけ早く発注を各課に促していきます。

「議会あれこれ」一般質問つなぐ... 議案質疑とは別に議員が市の行政全般にわたり執行部側に対し自由に質問できるものです。6月議会では21人の議員が質問をしました。